

キャラクター名
璃月トキ (イキツキ・トキ)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ノイマン	ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	小学生/UGNチルドレン
オプション	ブラックドッグ	年齢		性別	
覚醒	素体	衝動	恐怖	初期侵食率	33 %
出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	1	0	0			1	行動値	8
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	8
精神	5	1	0			6	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4	8	交渉	1	
回避			知覚	1		意志	4	1	調達		
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	2		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
陰鬱な呼吸	R C	6r+24		2d10		BG+DE 範囲選択 放心・憎悪付与
悲痛な溜息 (100↑)	R C	6r+27				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
RCコンバータ	

合計装甲:	0	合計回避:	0
-------	---	-------	---

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
傍らに立つ影	P	N		
キュウ	P●幸福感	N 憤懣		
トキ	P 庇護	N●悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	2	残り財産P:	0
--------	---	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	[5]						
効果:								
オリジン:レジェンド	5	3						
効果:								
浄玻璃の鏡	★	2						
効果:								
赤:憎悪の炎	★	3						
効果:								
赤:サイレンの魔女	3	6						
効果:								
ハードワイヤード	4							
効果:								
加速装置	4							
効果:								
背徳の理	2							
効果:								
R:ウロボロス	3							
効果:								
無形の影	★							
効果:								
シャドウダイバー	★							
効果:								
効果:								
効果:								

「……璃月、トキ」『この子の名だ。私のことはキュウとでも呼んでくれ。どうかよろしく頼む』

一応オーヴァードの少女と、それに共生している寄生型レネゲイドビーイング。キュウの方の人格では更にアヴァターが扱える、というややこしい事態が発生している。キュウ自身は戦闘に特化したアヴァターほどの力は持たないが、理性的なコミュニケーション能力と様々な事柄に対処する知識や技術、そしてトキを影の中に一時的に退避させる能力を持つ。

トキはいつも穴だらけの白衣を着ている。大人用のサイズなので歩くときと床に擦れ、損傷が激しくなりつつあるが、彼女はその白衣に愛着があるようだ。髪は二つ結びにしているが、これは毎朝キュウが整えている。

『なあとトキ、UGNに入ったからと言って戦場に行く必要なんて……』『行く』

彼女らは半年前、FHに追われている所をUGNに自発的に保護されにきた。現在は小学生として生活しつつ、チルドレンとしての活動にも従事している。キュウはトキを危険な目に遭わせたくないようで、大人しいが意外と行動的なトキの行動に、日々無い胃を痛ませている。

トキはオーヴァードではあるが、オーヴァードとしての能力はほぼないに等しく、実質ワーディング耐性を持っているだけの一般人。彼女の特殊性は、その呼吸にオーヴァードを引き寄せる性質がある、というものだ。

彼女の呼吸はレネゲイドウィルスに死滅させ、それによってオーヴァードに“脅威”として認識されてしまう。現在は訓練の甲斐あって、普段の生活に困らない程度には呼吸を制御できるようになった。他者からジャームの注意を逃らすことに繋がるこの体質を利用して、彼女は“デコイ”として戦場に立つのだ。当然キュウは全力で反対している。

『トキ、どうか私を許してくれ、身勝手な私を……』『キュウ……』

トキは半年前にUGNに逃げ込むまで、FHの研究所で被検体として扱われていた。研究の目的はトキの呼吸の原理を解明することで、広範囲のレネゲイドウィルスを集中させ強力なジャームを創り出すことであり、その研究を主導していたセルリーダーこそ、“過呼吸”(プレスオーバー)の名を持つFHエージェントであった